

和歌山電鐵貴志川線 平成28年度実績

新たな10年のスタートの年 利用者減少も、辛くも赤字回避

和歌山電鐵では、平成28年度の利用状況と決算見込みについて、以下のようにとりまとめ、分析しています。

利用状況

開業から11年目となった和歌山電鐵の平成28年度利用実績は、前年比5.1%減（11万9千人減）の220万1千人となりました。

利用者数	28年度実績	27年度比	
定期外	78万3千人	5万5千人減	93.4%
通勤定期	64万1千人	3万3千人減	95.1%
通学定期	77万7千人	3万1千人減	96.1%
合計	220万1千人	11万9千人減	94.9%

共通の減少要因として、平成28年4月に平均14.2%の運賃値上げを行った影響により、一定数の逸走があったものと思われる。

定期外については、運賃改定前の回数券先買いの反動減（1万人減）、東アジアを中心とした外国人団体客数の沈静化（5千人減）、そして26年度以降の和歌山デスティネーションキャンペーン、国体、高野山開創1200年等の全県的なイベントが収束し平常に戻ったこと等により、6.6%の減少となりました。

収支実績

運輸収入については、輸送人員は減少したものの、運賃改定によって18百万円増の3億68百万円となりました。いっぽう、グッズ販売その他が減少した結果、営業収益全体ではほぼ前年並みとなりました。

費用面では、老朽化の著しい鉄道施設について、従来の修繕を中心とした対策から、国・自治体の支援に基づいた更新（設備投資）に特化したことにより、線路関係を中心に修繕費が55百万円の減、原油安等により電力料が7百万円の減となっています。

開業当初からの赤字を補うための自治体からの補助金は、前年（27年度）をもって終了しました。新たな10年のスタートとなった当期以降、前年には実質81百万円あった赤字の解消が貴志川線存続のためには必要不可欠ですが、28年度の税引き後当期利益は0.3百万円となり、地域の支えと経営努力によって、辛うじて赤字を回避した結果となりました。

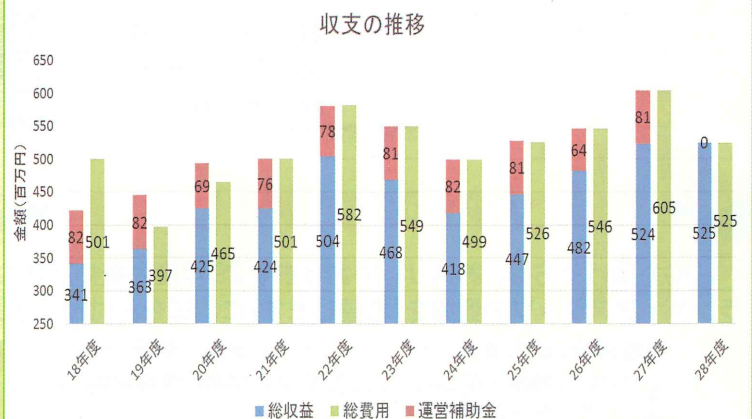
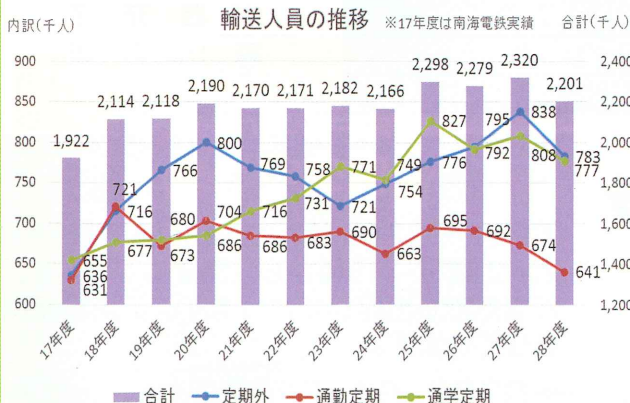
これから

平成28年度からの10年間、自治体による支援は、従来の「損失補てん」中心のものから、鉄道施設の更新等に特化した形態へと大きく変わりました。

理想としていた真の「公設民営」とはなりませんでしたが、最大の課題である施設の老朽化対策については、一定の道筋ができ、今後もひとつひとつ安全性向上が図られていくこととなります。いっぽう経営面では、いずれからも補てんされない赤字を回避し、いかに維持、発展できるかがこれからの最大の課題です。

今後の運営は、まさに地域づくりの一環として、行政（国、自治体）、市民、そして事業者が、それぞれの役割を分担しながら、“三方よし”となるよう一致協力して臨むこととなります。

和歌山電鐵では、今後も高齢化や沿線道路の整備などの逆境も予想されるが、引き続き、地域の皆様の熱いご支援をお願いするとともに、社員一同、気力と汗、そして遊び心も込めたアイデアで、地方鉄道再生の真のモデルとなるよう、努力してまいりますと決意を語っています。



代表から会員のみなさまへ

危機を乗り越える為にご利用を

貴志川線の未来を“つくる”会
代表 濱口 晃夫



5月16日、貴志駅に何時もの賑わいとは違う人たちが集まっていました。この人たちの目線の先にはたま二世駅長と何と京都宮川町の舞妓「ふく珠」さんが「たま神社」にお参りしていました。京都名店会の『大京都展』への大入りを祈願しての一幕でしたが「たま神社」も客招きの神社として定着してきているのでしょうか。

さて貴志川線は平成18年4月1日から和歌山電鐵の手で行政からの支援の下運行されてまいりました。平成18年当初は乗客数も減少し200万人を割り込んでいましたが和歌山電鐵の堅実な経営手法と我々『貴志川線の未来をつくる会』の皆様のご協力ご支援のおかげで、また重ねて言えば「たま駅長」の客招きの力により貴志川線沿線も少しではありますが新しい家も建ち賑わいを取り戻し乗客も増加してまいりました。

しかし残念ながら目標(年間乗客250万人以上)

にはまだ遠く及びません。特に行政からの補助が欠損補助から設備整備に変わった初年度の昨年は乗客数が減少してしまいました。危機です。この状況を打開するために、新しい行政補助の2年目にあたる今年度こそは乗客増につなげなければなりません。

地域の活性化、貴志川線の乗客増のために色々なイベントや行事を会社と共に計画、実施していますが(会報のつくる会活動日誌を参照)、さらに知恵を絞って新しいものも考えていきたいと思っています。

今考え計画しておりますのは会員優遇措置として、活性化・乗客増に繋がらないかという計画です。この取り組みは会社のご協力のもと「会員限定特典」として『増量回数券』の販売が始まることとなります。(会費納入のお願いを参照)

この新しく発売される『増量回数券』を活用し、さらなる貴志川線のご利用をお願いします。

平成29年度(2017年)役員名簿

(平成29年4月8日第1回定例会確認)

役職	名前	役職	名前
代表	濱口 晃夫	幹事	西本 哲夫
副代表	奥 重 視	//	川口 昌宏
//	木村 幹生	//	稲置 佳広
事務局 長	奥山 和生	//	織田 元宏
事務局 次長	奥 重 貴	//	森山 正雄
//	堀内 健作	//	藤田 宗治
//	川村 記義	//	次田 尚弘
//	富高 彰	//	宮脇 正好
会計 幹事	堀 瑛	//	鳥 淵 朋子
//	杉林 雅義	//	中西 望
//	中西 由子	//	大谷 豊
//	小山 裕史	//	岸 光 男
//	吉本 昌純	//	有本 友紀
//	岩垣 勉	監査	中西 充子
//	山下 日出子	//	森山 正雄
//	梶本 祥子		

ボランティアスタッフ募集!

ご協力頂ける方は、お送りしております29年度会費振込票のボランティアスタッフの登録を「希望します」に○印をお付け下さい。

(活動内容) 駅の清掃、イベント、駅での案内・整理、駅プラントー散水・花づくり、郵便物発送作業、情報発信(ポスター、ちらし作成)等

定例会のご案内

定例会は月2回(第2土曜日13時30分・第4土曜日 19時から)開催しています。どなたでも出席いただけます。ご連絡お待ちしております。

☎0736-64-6866 代表 濱口 晃夫まで

お答えします

「貴志川線の未来をつくる会」への意見・要望について

昨年の会報発送時とご利用感謝デーに和歌山電鐵と当会への「要望・意見はがき」を配布し32名から電鐵とつくる会に意見・要望が寄せられました、紹介しお答えいたします。(紙面の都合で要約しています)

なお、和歌山電鐵関係については、会報13号別冊をご覧ください。

◆イベントに関すること

○つくる会の創意ある工夫で、乗車人員が増加して嬉しい事です。「お池さくらまつり」しませんか

「さくらまつり」の開催につきましては、桜の名所大池遊園の復活による乗車人員を増やすことを目的に平成25年(2013年)から毎年開催しております。

○可能な限り貴志川線の線路沿いに桜の木と紅葉が美しい木を交互に植えたら、春は花見で“花見電車”、秋は紅葉で両シーズン凄く客足になるのでは?

アイデアありがとうございます、桜の植樹につきましては、つくる会では「さくら街道 貴志川線」作りへ平成19年(2007年)開業1周年記念植樹を皮切りに、伊太祈曽駅、竈山駅、山東~大池遊園~西山口間などに約80本の植樹を行ってきています、今後も引き続き花桃、紫陽花なども含めて取り組んでまいります。

○イベントとよさこいをコラボさせると人が集まりますよ、紀州お祭りプロジェクトに相談されては。

ご提案ありがとうございます、貴志川線祭りに参加頂いたこともあります今後のイベントに検討させていただきます。

◆会の活動に関すること

○会員、収入増、貴志川線の現状、将来性について、地域の人に理解、応援してもらう方法を具体的に考えませんか。例えば自治会の説明、育友会への説明、自治会費の中に一部運営費の協力をお願いするとか各家庭に乗車割引券等をセールスで売り込むとか、旅行会社とのタイアップ、専門家のアドバイス(収入、会員、組織等の全体向上)、子供達、学生のリーダー養成(将来の為)、本当に活発な活動に今後とも本当に活発な活動に今後ともよろしく(子供や孫、地域のために)

貴重なご提言ありがとうございます、今日まで取り組んだ内容もございますし、

●その他スタッフへのねぎらい、イベント参加します、孫と電車に乗った喜び等寄せて頂きました。

また主に電鐵が取り組む内容もございますが、今後の活動の参考とさせていただきます。

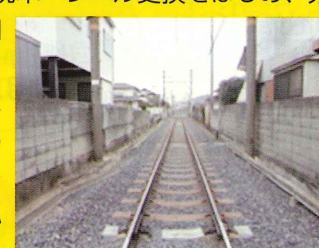
○No 0000、No0000(父&本人)同居家族です、分別にしないで連名でお願いします、通信費でも節約して下さい。基本的な考えは「会報・会費納入のお願い」、「購入補助券付案内」等各個人に関わるものは個人に、単なる案内は同居家族連名で送付させて頂いております、ご理解をお願いいたします。

○貴志川線沿線各駅の周辺情報が不足し周知されていません、会員のうち何人かが集まって、沿線の情報を持ち寄り貴志川線に乗って訪ねるあもしろい所を発掘しませんか、常時お客様に来ていただけるような仕掛けをしませんか。ご提案ありがとうございます、沿線情報の収集と周知の方法等については、電鐵とも相談しながら今後の課題として検討してまいります、ご協力をお願いいたします。

安全輸送確立の取り組み進む

■和歌山電鐵では、平成28年度より国・自治体の支援を受け、鉄道施設の更新が急ピッチで進んでいます

田中口~日前宮間の道床・枕木・レール更新をはじめ、分岐器、電柱、踏切障害物検知装置、信号軌道回路の更新、そして橋梁の補修・再塗装など、平成28年度に老朽化の進んだ数多くの設備の整備を行い、安全性の向上、乗り心地の改善が図られました。



田中口~日前宮間の軌道更新

■軌道モーターカー・ダンプトローラーの新造(軌道改良工事の強力助っ人登場!)

普段目にする機会は少ないですが、夜間の軌道改良などの保守作業には欠かせない、軌道モーターカー(動力車)1両と、三転ダンプトローラー(3方向への傾斜可能な運搬車)3両が新造されました。老朽化の著しい既存車両の置き換えとして、バラスト(碎石)、枕木、レール等の資材や発生土砂等の運搬に、平成29年5月より全て運用を開始しています。従来車よりも作業性や安全性が大幅に向上され、作業効率のアップが期待されます。



和歌山電鐵からのお知らせ

1家に1冊、

それが 増量回数券

1冊25枚綴りで、運賃は20枚分
割引率はなんと20%!
現行の普通回数券は9.1%

貴志川線の未来を“つくる”会会員限定特典が試験的に※スタート!

日頃より貴志川線をご愛顧いただいているお客様への感謝をこめて…
割引率を大幅にアップしたおトクな回数券、

「増量回数券」を、8月1日より発売予定!

例えば400円区間の場合、
通常10,000円(400円×25枚)のところ、なんと8,000円!

最大
2,000
円も
おトク!

ご家族でのご利用でも、とってもおトク!6か月間有効で、ご利用の曜日や時間帯は問いません。2週間に1度(1往復)のご利用で、ほぼ使い切る計算です。お求めの際は、「会費納入のお願い(オモテ面のご住所・お名前欄)」または「会費の受領証」を、駅係員にご提示ください。

一杯飲む日のお父さんに お買い物の日のお母さんに 塾・アルバイトの日のお子さんに 通院の日のおじいちゃん、おばあちゃんに

2016
6月



会報、28年度会費納入依頼
発送作業(6月25日)

70人
参加

7月



「絵手紙電車」車内掲示作業
(7月19日)

絵手紙の会と
18人

応募
502人

8月



地元農産品直売店開設



貴志川沿線に咲く花クイズラリー
(7月21日~8月31日)

のべ
13人



貴志駅夏季繁忙期応援
(8月11日~14日)

9月



ふるさと線を守る東日本連絡会と
交流10周年記念交流会(9月24日)



石北線、粟生線
名松線も参加、活性化へ交流

11月



貴志川線100周年・和歌山電鉄10周年記念
第10回貴志川線祭り(11月6日)

来場者
5000人

生徒さん
にお話しました



中学校でゲストティチャー
(和歌山市東中学校)(11月15日)
存続運動と街づくり、公共交通について

12月



クリスマス電車応援
(12月23日)

サンタ帽で
受付

2017
1月



和歌山中央卸売市場「市場まつり」
(12月4日)



桜の木の手入れ
(1月28日)

山東~大池間
遊園間

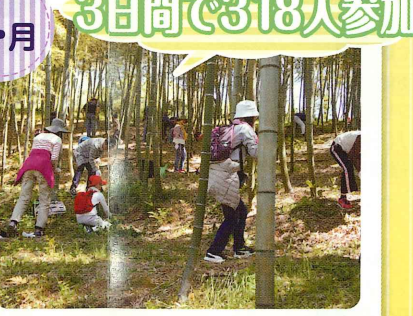
2月



第6回「駅からウオーク&ハイク」
(2月16日、26日)

2回開催71人参加

4月



第12回貴志川線に乗ってたけのこ掘り
(4月8日、15日、23日)

3日間で318人参加

6月



第10回じゃがいも掘り
(6月4日)

492人
参加

2016年 (平成28年)	
6月	11土 28年度第5回定例会 以降月2回年度内23回開催 第9回じゃがいも掘り 会場準備作業 (13名)
	12日 第9回じゃがいも掘り (379名参加) スタッフ28名
	17木 28年度第3回貴志川線運営委員会以降月1回12回開催 会報、28年度会費納入依頼文書発送作業 (70名)
7月	2土 大賀ハス「観蓮会」出展、グッズ販売、入会受付 (6名)
	7木・9土 和歌山駅9番ホーム会費受付 (延10名) 入会79名
	15日 「ねこの駅長たま」出版記念サイン会 (貴志駅) (1名)
	19火 「絵手紙電車」車内張り出し作業 (絵手紙の会と18名)
	23土 西貴志コミセン夏祭り出店、グッズ販売、入会受付 (5名)
	31日 ぶらくり丁、キッズ商店街ミニトレ運転応援 (2名)
8月	3水 共育支援メニューフェア出展 (ビッグ愛) (2名)
	11木・14日 貴志駅夏季繁忙期応援 (延べ13名)
9月	7水 四季の郷公園「ふれあいまつり」打合せ (2名)
	8木 第10回貴志川線祭り 第1回企画委員会 (6名)
	15木 第10回貴志川線祭り 第2回企画委員会 (6名)
	22火 第10回貴志川線祭り 第3回企画委員会 (6名)
	24土 ふるさと線を守る東日本連絡会と交流会 (43名) (10周年記念講演と交流会)
10月	1土 四季の郷公園「ふれあいまつり」出店 (ポップC販売)
	2日 西貴志コミセン祭り出店 (紀の川市貴志川町) グッズ販売
	8土・9日 「わかやま商工まつり」ミニトレ、グッズ販売 (延10名)
	15土 「くみあいまつり」ミニトレ運転、グッズ販売 (美園商店街)
	17月 「絵手紙電車」絵手紙電車絵手紙撤収作業 (6名)
11月	5土 第10回貴志川線祭り 準備作業 (17名)
	6日 第10回貴志川線祭り 来場者5000名 スタッフ122名
	10木 全国公民館会議 (和歌山市民会館) グッズ販売応援
	15火 和歌山市東中ゲストティチャー「街づくりと公共交通」講師
	26土 貴志駅イルミネーション取付け、点灯式 (14名)
12月	4日 「市場まつり」(和市中卸売市場) ミニトレ運転 (6名)
	12月 28年度会費納入再要請文書発送作業 (5名)
	22木 クリスマス電車プレゼント袋詰め作業 (8名)
	23金 クリスマス電車応援 (和駅、貴志駅、車内) (13名)
	27火 門松製作、伊太祈首駅に設置 (5名)
2017年 (平成29年)	
1月	3日 たま駅長就任10周年記念式典 (貴志駅) (5名)
	7土 貴志駅イルミネーション撤去作業 (15名)
	28土 桜の木の手入れ (山東~大池遊園間築堤) (13名)
2月	17日 第6回駅からウオーク&ハイク①40名参加、スタッフ14名
	26日 第6回駅からウオーク&ハイク②31名参加、スタッフ9名
	じゃがいも掘り種芋植え付け作業 (6名)
3月	5日 ぶる博オープニングイベント ミニトレ運転 (6名)
	11土 大池遊園駅桜まつり準備・清掃、飾り付け (9名)
	ぶる博「ニタマ駅長にあえるイチゴづくし旅」応援 (9名)
	29水 第12回「タケノコ掘り」抽選 (4名)
4月	4火 図書寄贈式典 (東南ロータリークラブから) 貴志駅 (2名)
	8土 第12回たけのこ掘り 会員の部108名参加 (12名)
	15土 第12回たけのこ掘り 一般の部①89名参加 (13名)
	23日 第12回たけのこ掘り 一般の部②121名参加 (12名)
	大池遊園駅桜まつり飾り付け撤去作業 (8名)
	29土 新小1生に「キッズパスポート」贈呈式 貴志駅 (4名)
	30日 和歌山中央メーデー ミニトレ運転応援 (4名)
	じゃがいも掘り準備 草引き5名参加
5月	3水・6土 貴志駅GW応援・記念入場券販売、案内 (延18名)
	8月 会報13号第1回編集委員会 (5名)
	20土 わくわくキッズランドin交通公園、ミニトレ等 (11名)
	25木 第10回じゃがいも掘り抽選 (7名)
6月	1水 会報13号第2回編集委員会 (5名)
	3土 第10回じゃがいも掘り 準備作業 (15名)
	4日 第10回じゃがいも掘り 492名参加、スタッフ25名

「じゃがいも掘り」10周年 長原北・鳥居地域資源保全会に感謝状

貴志川線の未来をつくる会と和歌山電鉄株式会社は、平成29年6月4日開催した「じゃがいも掘り」において開催10回を記念して、じゃがいも栽培に協力して下さっている「長原北・鳥居地域資源保全会」(代表 山田守彦)に感謝状を贈呈し、今日までの取り組みに感謝の意を表しました。

地元農家で組織する保全会は、平成20年に貴志川線利用促進策として「じゃがいも掘り」を提案され、毎年開催し貴志川線の名物イベントとなっています。



トピックス

グーグル検索画面トップに「たま駅長」登場

平成29年4月29日「Google」の検索画面トップページに「たま駅長」をデザインした記念ロゴマークが登場しました。一日限定で日本、ロシア、キューバ、ポルトガル、台湾など12か国に配信されました。



紀の川市・和歌山市の小学校の新一年生に「小1ホリデーパスポート」を配布

和歌山電鉄では、小さい頃から実際に電車に乗車し、身近に感じて公共交通への興味、関心を持って頂く機会になればと、土・日・祝日に無料で貴志川線を利用できる「小1ホリデーパスポート」を平成29年4月に両市内77校の新一年生全員3,500名に配布しました。



「和歌山東南ロータリークラブ」たま電車内文庫に350冊寄贈

平成29年4月4日、傷みのなごいこを聞いた同クラブから社会奉仕活動として、猫に関するものだけでなく、幅広い分野の4か国語の図書350冊が寄贈されました。

平成29年度(2017年) 活動計画

くらしを支える地域の財産、貴志川線の永続へ展望を開く年にしよう

今年度は、行政の補助が欠損補助から設備整備の支援に変わった中で2年目を迎えます。初年度の乗車人員は前年比で和歌山電鐵発足以来最大の下げ幅となりましたが、運賃の値上げと設備更新の補助によりわずかの黒字となりました。沿線の就業人口の減少、少子化や道路整備も進むという厳しい状況の中ですが、貴志川線はくらしを支える公共交通としてますます重要になっています。私たちは貴志川線を応援するボランティア団体として住民の熱意と行動を集め、活性化を目指して活動します。

I. 基本方針

地域の財産であり住民の足としてくらしを支え、また和歌山県観光の大きな資源である「貴志川線」の活性化と永続をめざして、乗車人員250万人の実現へまちづくりの活動と結び、住民の利用促進、イベントの開催、公共交通の整備促進などに、和歌山電鐵、自治体、関係諸団体と連携して活動を進めます。

II. 重点目標

- ①自立経営へ引き続き輸送人員250万人の実現を目指します
 - ①「チャレンジ250万人」運動に継続して取り組みます
 - ②沿線住民の貴志川線利用促進に取り組みます
- ②快適・便利で利用しやすい貴志川線づくりに取り組みます
 - ①駅設備、ダイヤ、サービスなど要望を集約し改善を求めています
 - ②「提言」をまとめ電鐵や関係機関に提案を行います
 - ③大池遊園駅対向設備復活、日宮～神前駅間新駅設置を目指します

III. 具体的な取り組み

- (1)住民の声と想いを結集して活動できる組織づくりに取り組みます
 - ①会員3000名を目標に入会呼びかけを行います
 - ②地域活性化の活動を進める皆さんとの協働に取り組みます
 - ③ボランティアスタッフへの登録と、活動への参加を進めます
 - ④会員限定イベントを開催いたします
 - ⑤定例会への参加呼びかけを行い態勢の強化を図ります
- (2)利用促進と貴志川線の魅力発信へ、イベントを電鐵と協働して取り組みます
 - ①タケノコ掘り、じゃがいも掘り、貴志川線祭り、ウォーキング、貴志駅春季・夏季多客期応援、大池遊園桜まつり、クイズラリー、駅清掃美化、沿線植樹、草刈り、門松作り
 - ②地域のイベントに積極的に参加しPRに努めます
 - ③地域密着の貴志川線へ各駅にサブネームをつけることを提言していきます
- (3)三社参りの復活と活性化に電鐵と協力し取り組みます
- (4)広報、PR活動に取り組みます

会報発行、入会促進リーフレット作成、ホームページの活用、「のぼり」の製作・掲出
- (5)楽しい魅力ある貴志川線作りへ一駅一物作りに取り組みます
- (6)地方鉄道の存続と活性化へ学習・政策活動に取り組みます
 - ①地方鉄道活性化に取り組む諸団体との交流、協働に取り組みます
 - ②公共交通維持強化の政策学習と資料の収集、活用に取り組みます

2017年6月～2018年5月 年間スケジュール

6月	貴志川線に乗ってじゃがいも掘り 会報と会費納入依頼発送
7月	和歌山駅ホームで会費受付 夏休み子どもスタンプラリー
8月	共育支援メニューフェア出展 貴志駅お盆繁忙期応援
9月	地方鉄道関係団体と交流会(予定)
10月	和歌山商工まつり 出店 コミセンまつり(旧貴志川町) 出店
11月	第11回貴志川線祭り 貴志駅イルミネーション
12月	クリスマス電車 迎春準備、門松製作
1月	駅からウォーク&ハイキング たま名譽駅長誕生日催事
2月	駅からウォーク&ハイキング じゃがいも掘り植付け作業
3月	いちご電車でいちご狩り 地方鉄道学習会(予定)
4月	和歌山電鐵開業記念日催事 大池遊園「桜まつり」 じゃがいも掘り草引き作業 貴志川線に乗ってたけのこ掘り
5月	和歌山県中央メーデー 出店 貴志駅GW繁忙期応援

※事情により変更される場合があります。



2016年4月1日～2017年3月31日

平成28年度会員は2,109名、ご入会ありがとうございました。

平成28年度会計決算についてご報告いたします【29年度第2回定例会承認(2017年4月22日)】

一般会計

「基金」および「特別会計」

- 収入は、会員2,109名の会費と、前年度繰越金および寄付金(194名、451,000円)、和歌山電鐵グッズ販売手数料、貴志川線祭り売上げ、預金利息等で収入総額は354万4,987円となりました。
- 支出は、「貴志川線祭り」はじめ利用促進各イベントの開催、「たけのこ掘り」と「じゃがいも掘り」の会員限定負担と、通信費、事務費などで節約を図り、支出総額は288万2,580円となりました。
- 収入、支出の郵貯振替は、会費入金タイムラグによる年度初期の運営資金として運用したものです。
- 繰越金の処理について、次年度繰越金66万2,407円は全額次期一般会計に充当いたします。
- 「貴志川線整備基金」について、貴志川線の施設、車両の老朽化に備えて2007年(平成19年)から積み立てています。今年度支出はなく昨年度残額に利息321円が増額となりました。
- 特別会計は、「ニュース和歌山25周年記念助成金」(平成20年3月12日に寄贈受ける)の残額34万5,871円と、新たに「きしがわ文化財研究会」からの寄贈41万3,627円(平成28年4月8日)の合計額で今年度支出はなく利息4円が増額となりました。

平成28年度(2016年)決算報告

〈収入の部〉

科目	金額	摘要
前年度繰越金	556,915	
会費	2,109,000	1,000円×2,109名
雑収入	570,072	寄付、グッズ販売手数料等
会員寄託金	2,000	梅星電車寄付
預り金	7,000	会費(4名)
郵貯振替	300,000	
合計	3,544,987	

〈支出の部〉

科目	金額	摘要
通信費	616,842	会費納入、イベント案内ガキ等
郵便振込料	148,410	会費郵便振込料1,265名分
広告宣伝費	145,056	ポスター、チラシ、のぼり等
事業費	1,360,858	各種イベント、交流会、駅美化等
事務費	198,194	コピー使用料、会議場倉庫借用等
交通費	107,220	イベント50件、スタッフ201名実費
会員寄託金	2,000	会員様梅星電車へ寄付
預り金	4,000	会費4名充当
郵貯返金	300,000	
合計	2,882,580	

〈収支決算〉

収入	3,544,987
支出	2,882,580
次年度繰越金	662,407

〈繰越金内訳〉

普通預金	577,716	(紀陽銀行国体道路支店)
現金	84,691	
合計	662,407	

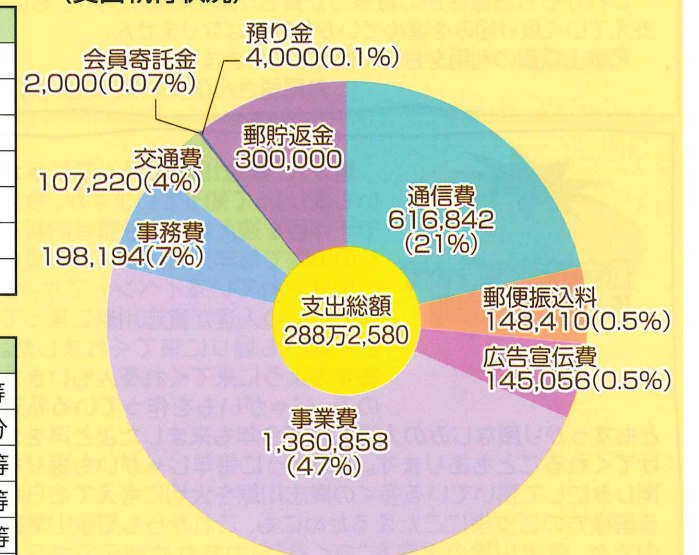
〈基金内訳〉(貴志川線整備基金)

定期預金	1,510,335	(紀陽銀行国体道路支店)
		(前期繰越1,510,014円と利息321円)

〈特別会計内訳〉

普通預金	759,502	(ゆうちょ銀行 友田郵便局)
		(前期繰越345,871円と「きしがわ文化財研究」からの寄付413,627円と利息4円)

〈支出執行状況〉



会計監査報告

2016年4月22日

貴志川線の未来を“つくる”会

代表 濱口晃夫 殿

監査 山本好造 殿

監事 中西亮子 殿

貴志川線の未来を“つくる”会 会則第6条第8項にもとづき2016年度(平成28年度)会計監査を実施したので、下記により報告します。

記

1. 監査実施日 2017年4月19日
2. 監査場所 貴志川線の未来をつくる会事務局
3. 監査対象 2016年度会計
4. 監査期間 2016年4月1日～2017年3月31日
5. 監査の結果 帳簿・証拠書類等が、正確かつ適正に処理されていることを認めましたので報告いたします。

以上

ひ り ば

会員、ご利用の皆さまからのお便りをご紹介します。



長山団地に転入してから約40年、思えば年月が経過したものです。その頃は和歌山市から道路も一部未改良で狭隘な所で渋滞もあり、当初は車通勤でしたが電車で替えました。貴志川線とはそれ以来のお付き合いになりました。

そんな折、貴志川線の存続問題が浮上し、どうなることかと気を揉んでいました。

時が移り、子供たちも成長し、勤め先を県外に求めたり、親子二世帯で住むことの少ない社会現象も相俟って高齢化が進み、空き家も増えつつあります。

また高齢者による交通事故が社会問題になっており、運転免許証の返納など益々公共交通機関の重要性が高まっています。

昨今では、東アジアを中心とした外国人観光客を車内でよく見かけますし、沿線での様々なイベントを企画されるなど、「つくる会」の皆様の並々ならぬ努力が利用者の増加に繋がっています。経営を引き受けられた両備グループ関係各位並びに和歌山県、和歌山市及び紀の川市の支援に対し沿線住民の一員として深く感謝する次第です。

これからも沿線住民の皆様方が貴志川線存続のため、ともに支えていく取り組みを進めていかなければなりません。

和歌山電鐵の利用をさらに促進していきましょう。

舟尾悟さん(紀の川市貴志川町)



皆さん「貴志川線に乗ってじゃがいも掘り」って知っていますか。今年で十年目を迎えました甘露寺前駅近くの田圃で毎年六月の初めの日曜日に開催されているイベントです。今年も沢山の人が貴志川線に乗ってじゃがいも掘りに来てくれました。毎年のように来てくれる人もいますので、じゃがいもを作っている私達

ともすっかり顔なじみの人もいて今年も来ましたよと声をかけてくれることもあります。このように毎年じゃがいも掘りを楽しみにして頂いている多くの貴志川線を大切に考えておられる皆様方のご支援にこたえるためにも、これからも和歌山電鐵の方々、貴志川線の未来を“つくる”会の方々や地元のパランティアの皆さんにもご協力を頂きながら、私達、長原北・鳥居地域資源保全会もじゃがいも作りを続けて行きたいと思っています。来年も甘露寺前駅の近くの田圃でじゃがいもを作って待っていますので、貴志川線が大好きな子供たち、お父さん、お母さん、お爺ちゃん、お婆ちゃんと一緒に、是非私達に会いに来てください。

長原北・鳥居地域資源保全会 山田守彦さん(紀の川市)



夏になると着たくなる浴衣。花火大会や夏祭りだけでなく、日常でも着られるとちょっとわくわくした一日を過ごせます。まちで楽しく活動する女性サークル「まち女子waccalla(ワッカラ)」では、毎年夏になると自分で浴衣を着て遊びに出かけるイベントを企画しています。昨年は浴衣が似合いそうな和風の電車、「うめ星電車」に乗って貴志駅までのんびりお出かけしました。

うめ星電車に揺られて着いた貴志駅では、ニタマ駅長を見たりカフェで一休みしたり。帰りは伊太祈曽駅で途中下車して、伊太祈曽神社まで心地よい風に吹かれながら歩きました。

遠方から友人が来た際には必ずと言っていいほど乗る貴志川線ですが、日常生活の中でのんびりと乗っていくことはなかったように思います。電車でご一緒した鉄道に詳しい方とおしゃべりや貴志川線沿線の方のお話しはとても楽しくて、ローカル線ならではのよさがありました。

貴志川沿線在住でもなく観光客でもないですが、ときどきふらっと貴志川線に乗っている人々と交流できたら楽しいですね。

まち女子waccalla 後藤千晴さん(和歌山市)



私たち「名松線を元気にする会」は平成24年11月に貴志川線を視察したご縁もあり、貴志川線の未来を“つくる”会様と交流させていただいています。今回少しだけ、名松線(めいしょうせん)の近況をお伝えします。

名松線は、三重県松阪市の中心部と津市美杉町の山間部を結ぶ全長43.5kmのJR東海の悲電化ローカル線で、1両だけのディーゼルカーが1日8往復走っています。平成21年10月の台風による土砂災害により、絶景区間を含む家城～伊勢奥津間で列車は運休、バスによる代行運転となっていました。平成28年3月に全線復旧を果たしました。6年5か月ぶりの復旧は日本の鉄道史上初のことだそうです。復旧後は復旧前に比べ乗客が約2倍になりましたが、これは空前の鉄道ブームも追い風になっていると分析しています。

この流れを好機としてとらえ、関係各団体がそれぞれ工夫をこらして名松線を盛り上げています。復旧には多額の税金が投入されましたので、私たちもその感謝の気持ちを見える形で表現すべく、地道な活動ですが年間を通して応援しています。今後も昭和レトロをテーマに個性的なイベントを開催するなど、名松線の乗客が少しずつでも増えていくよう、そして貴志川線のように全国区になれるよう鋭意がんばって活動をしてまいります。沿線には12の森林セラピーロードや歴史資源も多く温泉もあります。皆様もぜひ名松線の絶景の旅をお楽しみください。

名松線を元気にする会 堀田祐治さん(三重県津市)

引き続き貴志川線の発展へ活動を続けてまいります。
29年度会費の納入につきまして
ご協力いただきますようお願い申し上げます。

- 会費 年額1,000円(期間: 加入日に関わらず2018年3月31日まで)
- 納入方法 郵便局振込み 口座番号:00960-1-277944
(事務局)和歌山市伊太祈曽558
伊太祈曽神社内(9:00~17:00)

和歌山駅9番ホームで受付 7月6日(木)、7日(金)15:00~19:30

編集後記

「利用者減少も辛くも赤字回避」の28年度決算、たゆまぬ電鐵の経営努力の賜物です。何よりも住民の利用増が永続への鍵です、会員特典「増量回数券」を利用しよう。寄稿下さった皆様、無茶な注文に応じていただいた「紀州商合印刷」さんに編集委員一同感謝します。(和)